

事務事業名	商業活性化支援事業			会計	一般会計		事業種別	政策	開始	18	終了	
H27担当課等名	商業・市街地活性化課	H27係等名	商業流通係	H26係等名	商業流通係							
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり									
	施策	12	未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化									
目的	対象(誰・何を)	既存商店等						対象指標	指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	経営改善を行う							市内の卸売業・小売業・飲食サービス業・宿泊業の事業所数		2265	
	向上させたい上位施策の成果指標	小売業1店舗当たりの売上額(万円)										
目標	種別	指標名及び単位				26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	商店街等活性化や経営改善の活動を行った商店街、商店等				227	261	256	260			
	定性目標											
事業概要	地域商業の持続・活性化を目指し、個店の個性や魅力の向上及び専門店化、消費者ニーズへの対応、地域住民との繋がりを生かした地域密着経営、商店街・商工団体のネットワークやスケールメリットを生かした取り組みなど、小売・サービス業者の連携による商業活性化の取り組みや商店街・商工会議所支部の自主的の事業を支援する。											
26年度事業内容	事業内容				名称				活動指標			
	1 委託事業 (1) 買い物支援モデル事業 (2) 買い物動向アンケート調査事業 2 補助事業 (1) 商店街等活動事業補助 (2) 商店街共同施設補修・撤去事業補助 (3) 商業灯補修・撤去事業補助 (4) 地域商業活性化事業補助(NPOアイデア/まちゼミ事業) (5) 地域商業振興事業補助(飯田商工会議所支部事業) (6) 消費拡大対策事業補助(飯田商工会議所) 3 被害アーケード補修・撤去事業 25→26繰越明許				商業・商店街活性化の活動に取り組んだ商店・商店街等の数 1(1) 実施日数・のべ来客数 1(2) 対象地区数・回答率 2(1)~(3) 実施団体数 2(4) 実施回数・のべ参加店舗数 2(5) 実施支部数 2(6) 実施回数・のべ参加店舗数 3 実施事業数				1(1) 49日・2,860人 1(2) 20地区・21.7% 2(1) 5団体 2(2) 3団体 2(3) 2団体 2(4) 2回・46店舗 2(5) 5支部 2(6) 2回・200店舗 3 5団体			
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		3,415	6,684	6,661	3,790	(そ)繰越金 被害アーケード補修・撤去事業補助 25→26 繰越明許 2,184千円						
国庫支出金												
県支出金												
起債												
その他			2,184	2,184								
一般財源		3,415	4,500	4,477	3,790							
人件費計(千円)②		1,788	/	3,576	/							
正規職員所要時間		500		1,000								
臨時職員所要時間												
総事業費①+②		5,203	6,684	10,237	3,790							
事業内容・目標達成状況の振り返り	商栄会などの商店街団体、NPO、商工会議所支部(旧地区商工会)、商工会議所など各々が、その特性を生かした商業振興や活性化事業を実施し、地域商業の振興に一定の効果があつた。市はそれらの団体と連携・協力するとともに、取組や事業を支援した。											
改革改善の考え方	①問題点	・大型総合スーパーやネット販売などの競合により地元小売店での消費がダウンしている。 ・平成26年4月の消費増税以降、個人消費がダウンし、その回復も弱い。										
	②改革提案	・消費喚起するとともに地元小売店の利用が向上し、地元で利益が循環するように商店街や地元小売店らと連携協力して消費拡大対策事業に引き続き取り組む。										